# 全管連「経営に関する実態調査」アンケート調査票

令和6年7月

全国管工事業協同組合連合会

本調査は、所属員の現在の企業の実態についてお聞きし、管工事業の健全経営と今後の業界のあり方について調査、研究を行うための資料を得ることを目的として実施するものです。ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、ご回答いただきますようお願い申し上げます。 お問合せ電話番号 03-5981-8957(平日9:00-16:00)

#### 記入上のお願い

- ▶本調査は令和6年3月31日時点での調査です。特に対象期間の指定がない場合、この時点における、貴社の経営概要についてお答え下さい。
- ▶各設問では貴社の状態に当てはまる項目(選択肢)の番号に○印をつけて下さい。記入欄がある場合は、該当する内容を文章で書き入れて下さい。記入にあたってはインク又はボールペンを使用して下さい。
- ▶回答した調査票は令和6年9月27日(金)までに全国管工事業協同組合連合会にご返送下さい。
- ▶回答内容は、すべて統計的に処理され、他の工事関係者の目に触れたり、他の目的に使用されることは決してありませんので、ありのままをご回答頂きますようお願い致します。

### 貴社の概要について

最初に貴社の概要を教えて下さい。

企業形態	1. 株式会社 3. 合名·合資会社 5. その他 ( ) 2. 有限会社 4. 個人
所在地(都道府県)	(    )都·道·府·県
営業年数	1. 5年未満 6. 25~30年未満 11. 50~55年未満 2. 5~10年未満 7. 30~35年未満 12. 55~60年未満 3. 10~15年未満 8. 35~40年未満 13. 60年以上 4. 15~20年未満 9. 40~45年未満 5. 20~25年未満 10. 45~50年未満
資本金	1. 300 万円未満 2. 300~500 万円未満 3. 500~1,000 万円未満 4. 1,000~2,000 万円未満 5. 2,000~5,000 万円未満 6. 5,000 万~1 億円未満 7. 1 億円以上
従業員数※	1. 0人       4. 5~9人       7. 30~49人         2. 1人       5. 10~19人       8. 50~99人         3. 2~4人       6. 20~29人       9. 100人以上

※本調査において、「従業員」とは、期間を定めずに、もしくは1か月を超える期間を定めて雇用している常用雇用者を指します。

## 1. 貴社の代表者及び従業員について

問 1-1 代表者の現在の年齢を教えて下さい(○は一つだけ)

- 1. 29 才以下
- 3.40~49才
- 5.60~69才
- 7.80 才以上

- 2. 30~39 才
- 4.50~59才
- 6.70~79才
- 問 1-2 代表者の後継者は決まっていますか(○は一つだけ)
  - 1. 後継者が決まっている
  - 2. 後継者が決まっていない(候補 者はいる)
- 3. 後継者が決まっていない(候補者 もおらず、現在探している)
- 4. まだ決める必要がない
- 5. 今の代で廃業予定、売却予定 (M&A 等)

《問1-3は、従業員数を1人以上と回答した方のみ》

問 1-3	従業員のうち、以下に該当する人数を教えてください(回答はそれぞれ一つだけ)							
;	a 技術・	技能者数			d 若年従	業員数(34 歳以下	)	
I	<b>)</b> 事務職	战員数			e 高齢従	業員数(60 歳以上	)	
(	c 女性従	業員数			f 外国人	技能実習生数		
	女性従業	美員数のうち!	技術・技能者数		g 特定技i	能外国人数		
	選択肢	1. 0人	2. 1人 3. 2 <sup>-</sup>	~4人 4.5	i~9人 5. 10	0~19人 6.20~29	9 人 7.30 人以	上 )
			上と回答した方と比較した従		減を教えてく	ださい(回答はそ	れぞれ一つだけ	-)
а	技術者	・技能者			b 事務	職員		
	選択肢	,	1. 増加し	ている 2.	 減少している 	3. 変化はない		
			gで1人以上とD 身地を教えて			いくつでも)		
а	外国人技	能実習生の	出身地		b 特定打	支能外国人の出身均	也	
	選択肢	1. ベトナ a.その他		シア 3. 中国	ュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ン 5. ミャンマー 6.	 カンボジア 7. そ )	その他
2. 貴	社の給	水装置工	事の登録、	建設業記	午可業種等	<b>について</b>		
問 2-1	指定事	業者として	指定を受けて	いる事業体	数を教えてく	ださい(回答はそ	れぞれ一つだけ	·)
а			事業者として 水道事業体数			備指定工事店とし <sup>*</sup> :受けている下水道		
	選択肢	1. 0	2. 1	3. 2~5	5 4.6	~10 5. 11~1	16 6.17以	.上 .上
問 2-2			をけていますだ れぞれ一つだり		業種について	て、それぞれ該当~	する許可区分を	選んでく
8	管工事業	É	e. 須	建築工事業		] i. さく井工	事業	
k	. 水道施設	2工事業	f. 鲁	浦装工事業		j. 熱絶縁工	事業	
C	土木工事	事業	g. į	電気工事業		k. 清掃施設	江事業	
Ċ	l. 消防施記	设工事業 [	h. 柞	幾械器具設置	置工事業	1. その他(	)の職別工事業	

### 問 2-3 経営事項審査を受けていますか(○は一つだけ)

- 1. 受けている 2. 受けていない

## 3. 完工高および受注内容について

- 1. 1,000 万円未満
- 2. 1,000~3,000 万円未満
- 3. 3,000~5,000 万円未満
- 4. 5,000 万~1 億円未満
- 5. 1~2億円未満

- 6. 2~3億円未満
- 7. 3~5億円未満
- 8. 5~10 億円未満
- 9.10億円以上

《問3-2は、営業年数を5年以上と回答した方のみ》

**問 3-2** 5 年前 (2019 年) と比較した完工高の増減を教えて下さい (○は一つだけ)

- 1. 増加している 2. 減少している 3. 変化はない

問 3-3 完工高に占める管工事の割合を教えて下さい(○は一つだけ)

- 1. 20%未満
- 4. 40~50%未満
- 7.70~80%未満

- 2. 20~30%未満
- 5.50~60%未満
- 8.80~90%未満

- 3.30~40%未満
- 6.60~70%未満
- 9.90%以上

問3-4 完工高の大きい貴社の主な業務別工事を上位3つまで教えて下さい(回答はそれぞれ一つだけ)

完工高が大きい工事

1位

2位

3位

選択肢

- 1. 水道配水管(本管・支管)工事
- 2. 配水管から給水管の穿孔分岐工事
- 3. 給排水衛生設備工事
- 4. 空気調和設備工事
- 5. 消火設備工事
- 6. ガス管配管工事
- 7. 公共汚水桝設置工事

- 8. 下水道管路工事
- 9. 浄化槽工事
- 10. 修繕工事
- 11. 設備の保守管理業務
- 12. 1~11 以外の管工事
- 13. 管工事以外の業務
- 14. なし

**問3-5** 完工高に占める元請・下請工事の割合を教えて下さい(○は一つだけ)

1. 元請工事が主である

3. 下請工事(二次以降)が主である

2. 下請工事(一次)が主である

4. 元請・下請工事はほぼ同程度である

問3-6 宗工高に占める概ねの公共(公共建築物の設備工事を含む)・民間工事の割合を教えて下さい(○は一 つだけ)

- 1. 公共工事がほとんどである(9割以上)
- 4. 民間工事がやや多い(6割以上9割未満)
- 2. 公共工事がやや多い(6割以上9割未満)
- 5.公共と民間工事はほぼ同程度
- 3. 民間工事がほとんどである(9割以上)

### 4. 資格保有者数について

**問 4-1** 従業員が取得している資格について、その人数を教えて下さい。

※一人で二つ以上の資格をもっている場合は、それぞれについて記入して下さい。ただし、同一資格で1級・2級の両方をお持ちの方は、1級のみを記入して下さい。資格者がいない場合は「0」を記入して下さい。

※企業形態を「個人」、従業員数を「0人」と回答した<u>一人親方の方は、御自身が保有している資格を「1名」として記</u>入して下さい。

資格名	級	資格者数
管工事施工管理技士	1 級	名
自工事施工目 生汉工	2 級 (1 級資格者を除く)	名
土木施工管理技士	1 級	名
工小爬工 自	2 級 (1 級資格者を除く)	名
配管技能士(国)	1 級 (基幹技能者を除く)	名
的自汉化工(国)	2 級 (1 級資格者を除く)	名
登録配管基幹技能者	_	名
	1 級	名
建築士	2 級 (1 級資格者を除く)	名
	木造	名
<b>7-‡-≑Ω. ₩ √∨ τ⊞</b>	1級建設業経理士	名
建設業経理	2級建設業経理士 (1級資格者を除く)	名
消防設備士	甲種	名
1日的1改加工	乙種	名

資格名	資格者数
給水装置工事主任技術者	名
給水装置工事配管技能者 (給工財団)	名
配水管技能者(日水協)	名
排水設備工事責任技術者	名
浄化槽設備士	名
貯水槽清掃作業監督者	名
" 従事者	名
排水管清掃作業監督者	名
" 従事者	名
液化石油ガス設備士	名
特定ガス消費機器 設置工事監督者	名
建築設備士	名
技術士(水道・衛生・機械)	名

## 5. 労働時間・福利厚生等について

問 5-1 貴社には就業規則がありますか(○は一つだけ)

1. ある 2. ない (問 5-4 へ)

《問 5-2 は、問 5-1 で「1」と回答した方のみ》

- 問 5-2 時間外労働(残業) および休日労働に関する 36 協定(労働基準法第 36 条に基づく労使協定) は締結していますか。締結している場合、締結内容を教えて下さい(○は一つだけ)
  - 1.一般条項のみ締結している(様式9号)
  - 2. 一般条項と災害時の復旧・復興事業を締結している(様式9号の3の2)
  - 3. 特別条項のみ締結している (様式9号の2)
  - 4. 特別条項と災害時の復旧・復興事業を締結している(様式9号の3の3)
  - 5. いずれも締結していない

《問 5-3 は、問 5-1 で「1」と回答した方のみ》

問 5-3 就業規則で定めている休日形態につい	て、該当する項	頁目を教えて下さい(○は一つ力	だけ)
1. 完全土日休み	5. 4週5休		
2. 4週8休 (1を除く)	6. 日曜のみ		
3. 4週7休	7. 不定休(3	変形労働時間制(労働基準法 32	条の2))
4. 4週6休	8. その他(		)
問 5-4 実際の休日取得を増やすために、効果的	内だと思われる]	<b>取り組みは何ですか   会社とし</b> ご	ての回答が難し
い場合は、回答者様個人の意見でも結			
1. 発注者の理解		6. 施工時期の平準化	
2. 適正な工期(余裕のある工期)の認	· · 完 • 亦		冬佐の明示
3. 現場に係わる人手の確保	人	8. 書類のデジタル化、簡素化	
	コーチ [ルギ)		, L
4. 賃金が減らない工夫(月給制の採用	け、頁上り)		`
5. 施工の効率化		10. その他(	)
《問 5-5 は、貴社の概要で従業員 1 人以上と回答した			
問 5-5 直近1年間で従業員一人当たりの月平 (○は一つだけ)	立均残業時間(最	も多い月で休日出勤を含む)	を教えて下さい
	4. 60 時間超	80 時間以内	
2. 10 時間超 45 時間以内	5.80時間超		
3. 45 時間超 60 時間以内		100 时间1/7月间	,
3. 45 时间但 00 时间从内	6. その他(		)
問 5-6 残業時間を抑制するために、効果的だと	と思われる取り	且みを教えて下さい。会社として	ての回答が難し
い場合は、回答者様個人の意見でも結	i構です(○は3	つまで)	
1. 労働時間の管理徹底(経営者等によ	この定時退社の呼	乎びかけ・長時間勤務の禁止な	ど)
2. 業務効率化に繋がるツール・シスラ	ムの導入		
3. 賃金が減らない工夫(労務単価・賃	賃金の引き上げた	<b>まど</b> )	
4. 勤務形態の工夫(シフト勤務や半月	· □休暇、週休 2 · □	ヨの導入など)	
5. 現場に係る人手の確保			
6. 施工時期の平準化			
7. その他(	)		
	holes > 2 . I wt >>		
(問 5-7 は、問 1-3-a で技術者・技能者 1 人以上と回: <b>門 5-7</b>		いい (へけてわざれ 1 ~ ずっ)	
問 5-7 従業員に対する最も多い給与の支払形 ※技術者・・・建設工事の施工管理に従事する者 ※技能者・・・建設工事の施工に直接従事する者	(設計職を含む)、		
【a. 技術者】		支能者】	
1. 主に月給制		1. 主に月給制	
2. 主に日給月払制		2. 主に日給月払制	
3. 主に時給制		3. 主に時給制	
4. その他 ( )		4. その他(	)
5. 技術者はいない		5. 技能者はいない	
《問 5-8 は、貴社の概要で従業員 1 人以上と回答した			
問 5-8 直近1年間での従業員の賃金の引上け	*状況について教	対えて下さい(○は一つだけ)	
1.5%以上の賃金引き上げを実施した	4.	賃金引き上げを実施したが、1%	未満である

5. 賃金引き上げを実施していない

2. 3%~5%の賃金引き上げを実施した

3.1%~3%の賃金引き上げを実施した

### 問 5-9 各種保険の加入状況について教えて下さい。

- 【a. 第三者賠償補償制度】(○はいくつでも)
  - 1. 全管連の第三者賠償補償制度に加入している(地盤崩壊危険補償特約にも加入している)
  - 2. 全管連の第三者賠償補償制度に加入している(地盤崩壊危険補償特約には加入していない)
  - 3. 全管連以外の団体・保険会社等の第三者賠償補償制度に加入している
    - 3-a (現在加入している保険会社名をお教えください (○はいくつでも))
      - →1.損害保険ジャパン(全管連の制度を除く)
        - 2. AIG 損害保険
        - 3. 三井住友海上保険
        - 4. 東京海上日動火災保険
        - 5. あいおいニッセイ同和損害保険
        - 6. その他
  - 4.加入していない

### 【b. 法定外労働災害補償制度等】(○はいくつでも)

- 1.全管連の法定外労働災害補償制度に加入している
- 2. 全管連の傷害総合補償制度に加入している
- 3.全国中央会の業務災害補償制度に加入している
- 4. 他団体・保険会社等の法定外労働災害補償制度等に加入している
- 5.加入していない

#### 【c. 主に従業員の福利厚生を目的とした制度】(○はいくつでも)

- 1.全管連の福祉共済制度に加入している
- 2. 全管連の病気補償制度ハイパーメディカルプラスに加入している
- 3. 他団体・保険会社等の福利厚生を目的とした制度に加入している
- 4. 加入していない

## 6. 労働者の雇用について

- **問 6-1** 直近 3 年間における若年者(34 歳以下)の採用状況を教えて下さい(○は一つだけ)
  - 1. 採用予定があり、採用できた
- 3. 採用予定は無かったし、実際、採用しなかった
- 2. 採用予定はあったが、採用できなかった 4. 採用予定は無かったが、採用した

《問 6-2 は、問 6-1 で「1」または「4」と回答した方のみ》

- 問 6-2 採用した若年者の経歴を教えて下さい(○はいくつでも)
  - 1. 新卒(中学校卒、高校卒)

3. 中途採用(20歳~27歳)

2. 新卒(専門学校、大学卒)

4. 中途採用(28歳~34歳)

《問 6-3 は、問 6-1 で「1」または「4」と回答した方のみ》

- 問 6-3 若年者の定着状況を教えて下さい(○は一つだけ)
  - 1. 全員が継続して勤務している
- 3. 退職者が多い

2. 一部が退職したが、

4. その他(

ほとんどが継続して勤務している

《問 6-4 は、問 6-1 で「1」または「2」と回答した方のみ》

- 問 6-4 若年者への求人方法を教えて下さい(○は3つまで)
  - 1. 学校(高校、専門学校、大学等)への求人
- 5. 求人広告(web、求人誌等)

2. ハローワーク

6. 特に求人は行っていない

3. 知人・従業員の紹介

) 7. その他(

4. 社長・役員の縁故

)

7. 特に課題や障害は感じていない

8. その他(

《問 6-5 は、問 6-1 で「1」または「2」と回答した方のみ》

3. 労働ビザの取得や更新手続きが煩雑

4. 文化や習慣の違いによる職場での摩擦

すので、該当する項目をお答え下さい(○は3つまで)

1. 賃金水準の低さ	5. 将来のキャリアアップの道筋が描けない	
2. 残業の多さ、休日の少なさ	6. 建設業や管工事業の社会イメージの悪さ	
3. 労働環境(作業場が遠い、危険)	7. その他( )	
4. 雇用が不安定		
《問 6-6 は、問 1-3-d で若年従業員が 1 人以上と回答	した方のみ》	
問 6-6 若年者の育成方法として実施している		
1. 業務を通じて教育	5. 資格取得者等への手当	
2. 社内講習・研修等	6. 人的・時間的余裕がなく、社員教育を行っていない	`
3. 組合等が行う講習等	7. その他( )	
4. 資格取得に対する支援		
問 6-7 女性従業員を積極的に雇用するために	こ実施している工夫を教えて下さい(○はいくつでも)	
<ol> <li>女性が働きやすい職場環境の整備 (例:トイレの改善、ロッカーの設置</li> <li>育児休暇や介護休暇の制度充実</li> <li>フレックスタイム制度や在宅勤務制度の</li> <li>女性技術・技能者向けの研修の提供</li> </ol>	7. 特に行っているものはない	)
《問 6-8 は、問 1-3-f・問 1-3-g いずれかで「2」~「	「7」と回答した方のみ》	
	考え方に最も近いものを教えて下さい。会社としての回答が	難し
い場合は、回答者様個人の意見でも結		
1. 現在よりも人数を増やして雇用を継		
2. 現在と同じ人数程度で雇用を継続し		
3. 現在よりも人数を減らして雇用を継	<b>迷続したい</b>	
問 6-9 外国人労働者を就労させる際、課題とな は、回答者様個人の意見でも結構です(C	なると思われる項目を教えて下さい。会社としての回答が難り ○はいくつでも)	しい場合
1. 日本語のコミュニケーション能力不		不足
2. 技術や技能の習得に時間がかかる	6. 通訳や翻訳サービスのコストが高い	`

問 6-5 若年者の入職を促進していく上で最も問題となっていることは何ですか。回答者様の主観で結構で

7. 建設キャリアアップシステム(CCUS)につ	いて
問 7-1 建設キャリアアップシステム (CCUS) に登録	。 としていますか (○はいくつでも)
<ol> <li>CCUSに事業者登録をしている(問 7-2 へ)</li> <li>CCUSに自社の技能者登録をしている 全技能者の[ ] 割程度を登録 ※現在申請中も含む(問 7-2 へ)</li> <li>現在登録していないが 今後、登録を検討している(問 7-2 へ)</li> </ol>	4. 登録するつもりはない (問 7-4 ~) 5. CCUS自体をよく知らない・関心がない(問8~) 6. その他 (問8~)
《問 7-2 は、問 7-1 で「1」「2」「3」いずれかを回答した方のみ》 問 7-2 CCUSを活用・登録(申請中・検討中も含む)する 1. 元請や加盟団体からの推奨や指導があったため 2. 地方自治体から推奨とインセンティブがあった 2-a (推奨とインセンティブがあった地方自治体 → (1. 都道府県、2. 市区町村) 3. 営業における優遇が見込まれるため 4. 効率的に現場管理を行うことができるため 5. 効率的に技能者のスキルを評価し育成できるため 6. 業界全体の動向やトレンドに合わせるため 7. 外国人労働者を雇用する際の条件となっている 8. その他(	ため 体を教えて下さい (○はいくつでも)) な
《問 7-3 は、問 7-1 で「2」と回答した方のみ》 問 7-3 CCUSの配管技能者の能力評価を受けた技能者 者の平均年収を教えて下さい。概算の数値でかま ※平均年収は、基本給、手当、臨時給与(ボーナス等)	いません (○はいくつでも)
1. レベル1の配管技能者の能力評価を受けた技能者 2. レベル2の配管技能者の能力評価を受けた技能者 3. レベル3の配管技能者の能力評価を受けた技能者 4. レベル4の配管技能者の能力評価を受けた技能者 5. 配管技能者の能力評価を受けた技能者	がいる→ (平均年収 約 万円) がいる→ (平均年収 約 万円) がいる→ (平均年収 約 万円)
<ul><li>2. 経営事項審査への加点</li><li>3. 登録のメリットや利用方法についての説明</li></ul>	対策を教えて下さい。会社としての回答が難しい場 っでも) 5. 登録や更新手続きの簡素化 6. 登録・更新料、カードリーダーなどの費用 負担の軽減
会の開催 4. 発注者や元請からの登録推奨や要請の強化	7.システム導入や利用に関する相談窓口の開設 8.その他())

8. 水道事業体及び管工事組合への要望について、自由に記述下さい。

アンケートは以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。